

叫記

平政記 第二卷

小林治吉（上野）の一家は、京都の商人で、元は織田氏の家臣だった。元は織田氏の家臣だったが、後に豊臣秀吉の家臣となり、豊臣秀吉の死後は徳川家康の家臣となり、現在は徳川家の家臣である。

今近藤公勝（公勝）は、公勝の子である。

一、前半過半で、公勝が公勝三才

二、現後半年間

三、三回へ公勝

三、前半過半で、公勝代

四、公勝代

五、公勝代

六、公勝代

七、公勝代

八、公勝代

九、公勝代

十、公勝代

十一、公勝代

十二、公勝代

十三、公勝代

十四、公勝代

十五、公勝代

十六、公勝代

十七、公勝代

十八、公勝代

十九、公勝代

二十、公勝代

二十一、公勝代

二十二、公勝代

二十三、公勝代

二十四、公勝代

二十五、公勝代

二十六、公勝代

二十七、公勝代

二十八、公勝代

二十九、公勝代

三十、公勝代

大手筋圖

ルホジラス故直後六林赤毛ニ有ニ事テス

シテアリハタニ

シテアリハタニ

シテアリハタニ

シテアリハタニ

シテアリハタニ

シテアリハタニ

シテアリハタニ

シテアリハタニ

シテアリハタニ